

# ネアカヨシヤンマ

## トンボ目ヤンマ科

*Aeschnophlebia anisoptera* (Selys)

石川県カテゴリー 準絶滅危惧

国カテゴリー 準絶滅危惧

### 選定理由

もともと個体数も産地も多くなかったが、近年はほとんど見られない。生息地は里山にあり、開発や汚染の影響を受けやすい。

### 形態

腹長48~56mm、後翅長46~54mm。黄褐色の地に黒条があり、他のヤンマと異なって腹部がくびれず太い棒状である（アオヤンマも形が似るが、鮮やかな緑色）。

### 国内分布

中部以南から九州南部まで分布するが、産地は限られる。福井県の中池見や、富山県の乱橋池などにも生息する。

### 県内分布

小松市（遊泉寺、蓮代寺）、津幡町（北中条、清水）、かほく市宇ノ気、中能登町芹川、七尾市（福浦、田鶴浜）、穴水町乙ヶ崎の記録があり、近年は加賀市片野、金沢市（夕日寺、俵原、榎尾）、志賀町久喜、珠洲市三崎などでも確認されている。

### 生態

平地～丘陵のヨシやヒメガマなど抽水植物の多い池沼や湿原に育ち、6月頃に羽化する。未熟期には樹木の傍の水田の上空などを高く巡回飛行しつつ摂食し、成熟すると夕方や早朝の薄明時に活動することが多い。メスは樹陰のある水際の泥などに、腹端をさし込むようにして産卵する。

### 生息地の条件

平地や里山にあつて、ヨシ、ヒメガマ、マコモなどが生え、樹陰を伴うため池や休耕田。産卵のための泥土があり、下垂休止するための林、摂食空間としての林野も要件。

### 生存の危機

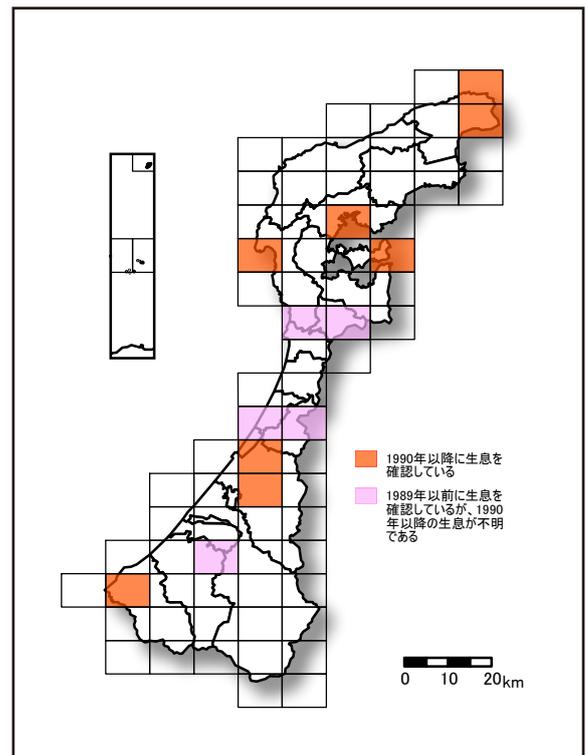
平地や里山の池沼は埋め立て、堤防のコンクリート化や防水シート張り（それに伴う水抜き工事）やブラックバス・ブルーギルの移入、廃棄物の投入、樹木の伐採、道路建設など直接的～間接的な影響が及び得る。小松市蓮代寺などの湿原も、埋め立てられた。（A、B）

### 参考文献

武藤 明 1998. トンボ目. 石川県の昆虫：49-57. 石川県自然保護課。  
武藤 明 2006. 石川県の蜻蛉目. とっくりばち, (74) : 7-19.



標本提供者：武藤明



県内の分布